

平成 17 年度第 3 回
春日井市廃棄物減量等推進審議会

平成 17 年 10 月 24 日

春日井市

1 県内各市指定袋制度導入調査表

	市名	指定袋			備考
		可燃ごみ	不燃ごみ	資源	
1	名古屋市				資源は、スプレー、プラ、紙、缶、ペット
2	岡崎市				可燃ごみ(スプレーレジ袋認定制度) 資源は、紙、プラ、ペット
3	瀬戸市				不燃は予約制、記名排出
4	半田市				
5	豊川市				プラスチックは可燃ごみ
6	津島市				資源は、プラ
7	碧南市				120枚以上使用は、1枚100円
8	刈谷市				資源は、プラ、紙、アルミ、金属、ペット、ガラスびん
9	豊田市				不燃は、埋立ごみ
10	安城市				資源は、プラ 不燃は推奨袋
11	西尾市				資源は、プラ
12	常滑市				
13	江南市				
14	小牧市				蛍光管、空き缶、金属、プラ、ペット、ガラスびん
15	新城市				
16	東海市				資源は、プラ、ペット、缶
17	大府市				
18	知多市				
19	知立市				資源は、プラ
20	尾張旭市				資源は、プラ
21	高浜市				
22	岩倉市				不燃は推奨、資源は、プラ検討中
23	豊明市				資源は、プラ
24	日進市				資源は、プラ(60)
25	田原市				
26	愛西市				資源は、プラ
27	清須市				資源は、缶
		27	16	14	H17.9調査

導入していない市

1	春日井市	透明・半透明袋
2	豊橋市	透明・半透明袋
3	一宮市	透明・半透明袋
4	蒲郡市	透明・半透明袋
5	犬山市	導入はH16以降で未定
6	稲沢市	透明・半透明袋(推奨袋)

2 指定袋導入各市の燃やせるごみ指定袋の内容

	市名	サイズと価格			形態		色	記名	備考
		大	中	小	材質等	その他			
1	名古屋市	市場価格			半透明PE		無色		
2	岡崎市	市場価格			半透明PE		無色		
3	瀬戸市	10円	9円	8円	半透明PE	活性フェロキサイト入	黄		
4	半田市	10円	7円	5円	半透明PE		ピンク		
5	豊川市	市場価格		市場価格	透明PE		赤		
6	津島市	20円		15円	半透明PE		白		
7	碧南市	100円			半透明PE		白		120枚/世帯 無料配布
8	刈谷市	10円	9円	8円	半透明PE		緑		不燃と資源は要記名
9	豊田市	7.5円		5円	半透明PE		白		
10	安城市	市場価格			半透明PE		赤		
11	西尾市	10円		8円	半透明PE		無色		
12	常滑市	市場価格			半透明PE		青		
13	江南市	14円	10円	5円	半透明PE	炭酸カルシウム入	白		
14	小牧市		市場価格	市場価格	半透明PE	炭酸カルシウム入	白		
15	新城市	9円	7円		半透明PE		無色		
16	東海市	110円	110円		半透明PE		白		80枚無料配布
17	大府市	7円	6円	5円	半透明PE		ワイン		
18	知多市	市場価格			半透明PE		緑		
19	知立市	13円		10円	半透明PE		白		
20	尾張旭市	市場価格			半透明PE		黄		
21	高浜市	50円			半透明PE	炭酸カルシウム入	白		80～100枚/世帯 無料配布
22	岩倉市	9円		7円	半透明PE	炭酸カルシウム入	白		
23	豊明市		市場価格	市場価格	半透明PE		赤		
24	日進市	15円		10円	半透明PE		白		
25	田原市		市場価格		透明PE		緑		
26	愛西市	20円		15円	半透明PE		白		
27	清須市	8円	6円	5円	透明PE		緑		合併前の各町の指定袋の使用可

ごみ袋の種類：大（40～45）、中（20～30）、小（10～15）

活性フェロキサイトはダイオキシンなどの有害ガスの抑制、炭酸カルシウムは焼却熱量の抑制に効果あるといわれている。

雑がみの収集について

1 趣旨

新聞紙・雑誌・段ボール・牛乳パックを除く紙（雑がみ）を資源として収集し、再生利用するもの。

2 対象物

- ・菓子箱、ティッシュの箱、封筒、カタログ、OA用紙、ワイシャツの台紙、紙袋、紙製のファイルなど。ただし、ビニール、プラスチック、金属部分は燃やせないごみに分別する。

対象とならないもの(リサイクルできないもの)

ビニールコート紙、紙コップ、紙皿、写真、汚れの付着した容器包装、粘着物のついた封筒、裏カーボン紙、ノーカーボン紙、感熱紙、油紙、ワックス加工品

3 排出と収集の方法

(1)収集回数 毎月2回(新聞・雑誌・段ボール等の資源収集日)

(2)排出方法 雑誌に混ぜて縛るか、紙袋に入れる。

4 実施時期

平成18年1月4日の収集地区から実施

5 周知方法

(1)12月1日号広報配布時にチラシを全戸配布

(2)「保存版 資源・ごみの出し方便利帳」、「2006年版 資源・ごみ出しカレンダー」に表記する。

(いずれも12月15日号広報配布時に配布予定)